

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

田原聖子

子どもを産みたくないのではなく、産みたいのに産めない政治・経済状況にあること。例えば、子育てするのに重い経済的負担がかかること、劣悪な雇用・労働環境の中で、子育てに必要な給料が得られないこと、家事・育児における不平等で女性に負担が集中すること、激しい競争教育など。

中原
しょうた

少子化の根本原因は、若者の貧困化によって婚姻数が減ったことです。結婚した夫婦の子どもの数は大きく減っていません。日本では結婚と出産がほぼ一体であり、結婚できない社会構造こそが少子化の本質です。

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

高木 けい

結婚した家庭が約2人の子どもを持つことは以前からほとんど変化がない。一方で結婚しない若者の割合自体が大きくなり、このことが最も大きな影響を与えている。結婚し希望する人数の子どもを産み育てたいと思うよう、若い人たちの所得水準を上げるための、経済的・社会的・制度的支援を、国と自治体が連携して充実させる。

黒石
ゆうこ

国民負担率の増加(消費税含む)、経済的不安による未婚化、晩婚化、晩産化

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

くすみ
勇樹

未婚化（晩婚化と非婚化）が出生率低下の原因と考えています。日本は婚外子が少ないため、結婚をしないという選択が、結婚をせずに子どもをもたないという選択につながります。従って、未婚化率の上昇が、出生率の低下に直結していると考えられます。未婚化率の上昇の背景には、価値観の多様化も一つの要因として指摘できますが、若い世代の不安定な雇用環境、低い収入と生活コスト（住宅費、教育費、光熱水費などの生活費に加えて、税金と社会保険料の負担）の重さ、出会いの場の不足が主な要因と考えております。

阿部司

少子化の根本原因は、若い世代が将来に夢や希望を持てなくなっていることです。「現役世代の負担の重さ」と「将来不安」、この二つが絡み合っています。維新は教育・出産費用の無償化、税制改革、労働市場改革、そして社会保障改革による社会保険料引き下げを総合的に進めます。社会保険料を下げれば今の負担が軽くなり、制度が持続可能になれば将来不安も和らぐ。負担と不安を同時に解決できるのが社会保障改革です。

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

田原聖子

十条や赤羽駅前、高島平団地などで、まちづくりといいながらタワーマンションを呼び込み、住環境に重大な影響を及ぼす市街地再開発計画が推し進められていること。国の施策においては、必要性・緊急性がない市街地再開発事業の見直しを徹底するとともに、高騰する住宅価格・家賃に対する負担軽減策を充実させる。

中原
しょうた

12区地域は再開発と交通利便性の高さからファミリー層が転入していますが、地価や家賃の上昇で生活負担が増えています。その背景には、居住を目的としない投機的な不動産取得があります。国政では、こうしたマネーゲーム的な不動産投機に規制をかけ、実際に住む人の住宅を守る政策を進める必要があると考えます

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

高木けい

北区・板橋区北部の生活の安全保障に直結する課題として2024年に通水100周年を迎えた荒川放水路の優先整備を挙げる。国土強靱化の本質は「起きてから復旧に莫大な予算を使う」のではなく、「起きる前に投資して被害を防ぐ」こと。北区・板橋区での高規格堤防の優先整備や、調節池の整備加速、排水機場の能力増強を進める。

黒石
ゆうこ

外国人の数割合8.69%と東京都でも5番目に高い比率かつ外国人の土地取得問題。
総量規制の実施と土地取得における規制

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

くすみ
勇樹

①高齢化と単身化が進んでいること、②公営住宅・UR・古い民間賃貸が多く、住宅のユーザーのニーズと、実際に供給されている住宅の価格と品質にアンマッチが起きていることが課題としてあります。この課題に対して、古くなった公営住宅をリフォームし、高齢者向けにはバリアフリー化して見守りのついた公営住宅とし、子育て世代向けにはファミリー層向けの間取りにした手ごろな価格の公営住宅を提供する政策が有効だと考えます。国政への反映についてはまず、国土交通省の既存事業（補助事業）を北区に対して適用できるように働きかけていくことです。これに加えて、「公営住宅 多世代・見守り事業」のような補助事業を新たに創設し、区内での活用を促進することです。

阿部司

北区・板橋区は若い世代の流出と高齢化が進み「選ばれにくい街」になりつつあります。「選ばれる街」にするため、二つの課題に取り組みます。一つは住宅価格高騰対策。外国資本による投機的取得の実態調査が進んでおり、規制強化を国政で進めます。二つ目は防災。荒川の大規模水害時に必要な広域避難先は2割しか確保できておらず、国の財政支援と広域調整が不可欠です。

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いますか？

田原聖子

大学の学費値上げの中止。

中原
しょうた

奨学金の返済補助です。奨学金は若者の生活を直接圧迫しています。1000億円では全額無償化はできませんが、奨学金の返済分を税額控除できる制度をつくることで、結婚や出産の前提となる生活の余裕を取り戻します

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いますか？

高木けい

毎年1000億なのか、単発で1000億なのかで考え方は変わるが、私なら教育（人材育成）の徹底強化に使いたい。「人材こそわが国の宝」との考え方に立ち返って、特に高市内閣が掲げるAI・半導体、量子、宇宙、造船などの17の戦略分野で、日本が世界に抜き出る力をつけるための人材育成に投資し、競争力を強化し成長を加速する。

黒石
ゆうこ

消費税廃止に向けた財源の一部として使用

衆議院議員選挙東京都第12区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いますか？

くすみ
勇樹

給付型奨学金の拡充に使います。学生1人当たり年間100万円の給付型奨学金を支給すると仮定すると、10万人の学生に給付型奨学金を支給することができます。現在、昼間部の約55%の学生が何らかの奨学金を利用しているとのデータもあります。また、平均借入額は300万円～400万円とのデータもあり、卒業後の返済負担が極めて重くなっています。返済不要の奨学金によって学生の奨学金債務負担を軽減し、学ぶ意欲の高い学生に学業や研究に専念してもらうことで高度な知識や技術を身につけた日本の将来を担う人材を多数育成したいと考えております。付加価値の高い高度人材は日本の成長戦略の柱になります。

阿部司

1000億円は国家予算の0.1%にも満たず規模感がずれた質問ですが、あえて答えるなら人口戦略本部の機能強化とシミュレーション基盤の整備に投じます。少子化対策と外国人政策を統合した国家戦略には、専任体制と分析機能が必要です。出生率回復や外国人比率の将来推計、財政影響分析など、エビデンスに基づく政策立案の基盤整備が最も効果的な投資だと考えます。